認定こども園
広島和光園保育所　2025

9月のおたより

鈴虫の声の涼やかな音色が、秋の訪れを感じさせますね。とはいえ、日中は蒸し暑くまだまだ夏の気配も消えません。気温が下がるとやっと外遊びが充実してくるのですが、去年は９月も暑くてほとんど室内での活動になりました。10月には運動会を控えています。少しでも早く気温が下がるのを待つばかり。

今年の運動会は大人も、こどもも夢中になって楽しめる、思い出に残る運動会を目指しています。「あの年の運動会は楽しかったよね」「盛り上がったね！」と思い返せるような、今年度ならではの運動会がしたいと職員もいろいろなアイデアを出して計画中。当日だけでなく、当日までの経過の中でもお子さんとわくわくできたらいいなと思います。

０，１，２歳児さんは、９月末に「親子で遊ぼう会」を予定しています。親子でスキンシップしながら一緒に遊びを楽しんだり、他の保護者の方と交流したり、有意義な時間にしていただけたらと思います。

日	曜日	9月の行事
1	月	体育教室
2	火	
3	水	
4	木	硬筆教室
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	体育教室
9	火	
10	水	
11	木	硬筆教室
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	敬老の日
16	火	
17	水	
18	木	硬筆教室
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	体育教室
23	火	秋分の日
24	水	
25	木	硬筆教室
26	金	
27	土	親子で遊ぼう会 （ひよこ・ぺんぎん・いるか組）
28	日	
29	月	体育教室
30	火	

わかばパパママ応援教室は、随時受付中です

乳児クラスも なつまつり たのしみました♪

2歳児さんもステージで踊りました♫

７月30日に幼児さんたちが行ったなつまつり。動画配信は観て頂けましたか？なつまつりでは、乳児クラスの子どもたちもステージを観たり、ダンスで参加したりなど一緒に楽しみました♪

そんな楽しい経験をした2歳児クラスの先生たち。

『乳児クラスでもなつまつりがやりたい！』という思いが湧き出してきて…

なつまつり たのしんじゃお～！！

金魚すくいや、ヨーヨーつり、水で的あて遊びなど、水を使った涼しくて小さな月齢でも楽しめるゲームを用意しました♪
ボール投げ遊びも子どもたちは大好き！
満足いくまでおまつりを楽しみましたよ♪

的あて

ケチャップ等のパックに水を入れて的あて遊び。パックを勢い良く押して…的にあたるかな…！？

ボールで的あて遊び。ボールに混ざった花紙を投げると接着テープに、くっついて華やかな花火ができます！

金魚すくい

網で作った手作りポイですくいます。
小さいぺんぎん組さんたちは豪快に手づかみで！！

ヨーヨー釣り

2歳児さんがシールを貼って作ったヨーヨーを、小さなトングでつまんで釣ります。うまく釣れるかな…

盆踊り

最後は盆踊りで締めくくり。おまつり大好き富繁保育士がお立ち台の上で子どもたちを盛り上げました♫
大人も子どももおもいきり楽しんだ、なつまつりでした♡

子どもの健やかな育ちのために… 子育てアドバイスコーナー

こどもを伸ばす親になるには？

「できん！」「やってー！」出来る力はもっているのに、できない！とだだをこねる我が子に、ちゃんと自立できるかな…と不安になるとはありませんか？“自立する”とはどのような姿なのでしょうか？
佐々木正美先生の著書『子どもの心の育て方』より、子育てのヒントをいただきました。

『なんでもひとりでできるようになること』が自立ではありません。他人との調和のなかで主体性を発揮して暮らしていくことが本当の自立です。

自立というのは、孤立して山の中でいんとん生活をすることではありません。社会のなかで、主体性と、そして協調性を持って暮らしていくことが「自立している」ということだと思うのです。主体性と協調性のバランスがとれている状態が自立です。

子どもの自立というと、どうしても、おむつがはずれてひとりでトイレに行けるようになったとか、食事や洋服の脱ぎ着が自分でできるようになった、といったことを、親はつい思い浮かべてしまうので、「ひとりでできること」が自立だと思ってしまいがちです。

ところが、本当に社会的に自立して行動できる人というのは、周囲の人との調和のなかで何かをすることができる人です。人との関係のなかで主体性を発揮できることが自立です。
そのためには人を信じ、自分を信じることが必要です。
それには、子どもが一番最初に出会う他者である、「親」を信じ、親との人間関係が健全なものである必要があります。

子どもは、自分の希望をありのままに親に受け入れてもらうことで、「自分は価値のある者なのだ」と感じられるようになります。しかし、これはダメ、こうしなくてはいけないと言われつづけていると、自分の存在価値をとても小さなものに感じるようになってしまいます。

人に対する不信感、恐怖感、警戒心の強さは、基本的には自分の欲求がどれくらい認められてきたかで決まります。不信感が強すぎると、人と調和しながら主体性を発揮することが出来なくなります。いくら勉強ができても、それだけでは自立するための力は育たないのです。

自立と孤立は違います。なんでもひとりでやること、ではありません。だから、「ひとりでできるようにしなさい」「もうお母さんは手伝いません」ということばかり言わず、ゆっくりと十分に手をかけて育ててあげてください。

おたより掲載用に、本文から一部を抜粋しています。内容に興味がある方は、玄関に本を置いていますので、ぜひ読んでみてくださいね。（貸出できます★）

9月の行事

親子で遊ぼう会（ひよこ・ぺんぎん・いるか組）
9月 27 日（土）

大好きなお父さん・お母さんと一緒に、日頃こどもたちが遊んでいる遊具で遊んだり、子どもたちの大好きな運動遊びやふれあい遊び等を楽しみます。

普段忙しくてゆっくり遊べないという保護者の方も、この日はゆったりとお子さんと遊んでみてください。

【中学生職場体験】
楠那中学校　９月 17 日（水）
９月 18 日（木）

住宅用火災警報器
大切な命を守るため
点検・交換しましょう！
『平和都市　みんなでつくる　防火の輪』
消防局より

へいわのひのつどい

8月6日に、幼児クラスで平和の日の集いをしました。

原爆の日を迎えるにあたって、各グループで平和について対話をしていきました。

原爆や戦争で大切なものを失ってしまった人たちがたくさんいたことを知った子どもたち。でも今は毎日を不自由なく生活することが出来ています。なかなか意識することのない当たり前の“今”にスポットを当てて、身近にある「ありがとう」や「幸せだな」と感じることを出し合ってみました。

年中、年少さんたちもいろんな思いを出していましたよ。友だちの言葉に耳を傾けること、考えてみること、相手に思いを伝えること。安心できる仲間だからこそ出来ることですね。

★おかあさんが毎日ごはんを作ってくれること
★ママがぎゅーってしてくれること
★おりがみでかばん作りができること
★かぞくでおでかけするのってへいわだなぁ～
★お水がつかえること
★みんながいてくれること　などなど

グループで出たいろいろな思いを、年長組のこどもたちがまとめて、つどいの日に発表しました。

折り鶴づくりが流行っていたこともあって、原爆の子の像のモチーフになった佐々木貞子さんの物語を、スライドを使ってお話しました。

1分間の黙とうをした後、みんなで「あおぎりのうた」を歌いました。言葉を大切に歌う子どもたち。
1人ひとりが、自分の心で感じたり、考えたりしていることが伝わってきました。

ほけんニュース　爪のケアを大切に

気がつくとあっという間に伸びてしまう子どもの爪。ケガの予防や衛生を保つため、こまめに切って適切な長さにしておくことが大切ですね。

どうして爪を切るの？

爪には、指先を保護したり、指先に力を入れるときの支えになったりするなどの大切な役割があります。
しかし、爪が伸びすぎると…

★自分や友だちの顔や腕に当たった時に、傷つけてしまうことがある
（けがは、された方もした方も気持ちのいいものではありません。保育士もケガのないように心がけてはいますが、止めきれない場面もあります。深い傷にならないようにご家庭での爪のケアをお願いします。）
★爪の間に汚れがたまって雑菌が繁殖しやすくなる　★爪が剥がれたり、割れたりしてケガをする
などのリスクが生じます。子どもの安全の確保や、衛生面の維持のためにも、こまめに爪を切りましょう。

爪の切り方のポイント

手の爪を切った後は、角がないか先端を触って確認しておきましょう。

入浴後の爪切りは少し時間をおいてから…

爪を切るタイミングは、大人は入浴直後の水分を含んで柔らかくなった状態が理想ですが、子どもはもともと柔らかい爪がさらに柔らかくなるため避けましょう。思ったよりも爪が切れてしまい、深爪や切りすぎによって出血してしまうおそれがあります。

子どもの爪切りの頻度は？

子どもの爪は大人よりも早く伸びます。乳幼児期は、**手は1週間に1回、足は2週間に1回程度**を目安にすると良いそうです。爪を切る曜日を決めておくと、切り忘れを防げますよ！

子どもが爪切りを嫌がる時は？

爪切りの種類を変えてみる

爪切りが嫌いな子の中には、爪を切ること自体が苦手なのではなく、爪を切る時の道具の感覚が苦手という子も多いそうです。爪切りの道具の種類を変えてみることで、すんなり切らせてくれるケースもありますよ。

爪やすりがおススメです！

爪やすりは爪を丁寧にこすりながら少しずつ削れます。はさみやクリップ型の爪切りのように刃がないので、爪を切るのが怖くて苦手な方でも扱いやすいです。はさみやクリップ型で切った爪の先端を滑らかにする用途にもおすすめです。

爪切りに興味を持つ工夫を取り入れる

- 保護者の方が爪を切っている様子を見せる
- 子どもと一緒にお店で爪切りを選び、自分専用の爪切りを用意してみる
- 爪切りができたらシールを貼る　など